

目 次

序 文 はじめに

第1章 阪神・淡路大震災の主な被害の概要

第1節 地震の概要と特徴	1
第2節 被害の概要	1

第2章 兵庫県の阪神・淡路大震災対策

第1節 地震直後の24時間の活動	5
1 災害対策本部の設置及び初動活動	5
2 緊急最優先対策の実施	12
3 災害救助法の適用	19
4 明らかになった被害状況	19
5 本部長（知事）から被災者、県民、国民への緊急呼びかけ等	20
6 国及び各機関の支援	20

第2節 災害応急・復旧対策（震災後1年までの期間）

I 災害応急・復旧対策に向けての重点的取り組み	22
II 災害応急・復旧対策の推進体制	33
1 組織の充実	33
2 人員の確保	36
3 震災・復興経費（予算）	42
4 国の予算措置状況	44
5 庁舎復旧	47
6 県会議員選挙等の執行	49
7 県議会の取り組み	50
III 災害応急・復旧対策の内容	52
1 人命救助・救急活動の展開	52
2 救援情報の提供と相談活動	66
3 避難所、避難住民救援活動	84
4 食料、日用品等緊急生活物資の確保	110
5 ライフラインの復旧（水道、電気、電話、ガス等）	124
6 その他の施設復旧（農林水産施設、公共土木施設）	136
7 住宅対策	153
8 生活救援対策	159

9	産業、雇用対策	185
10	保健医療対策	217
11	廃棄物対策（関連する環境対策を含む）	244
12	交通の復旧、輸送体制の確立	252
13	教育対策	267
14	余震・二次災害対策	289
第3章 ボランティア活動		
第1節	ボランティア活動の概要	303
第2節	一般ボランティア活動への支援	306
第3節	災害救援専門ボランティア制度の創設	317
第4節	共に生きる心に支えられて	318
第4章 阪神・淡路大震災の教訓を生かした防災対策の推進		
1	地域防災基盤の整備	321
2	防災施設の整備	322
3	迅速な災害応急活動体制の確立	324
4	災害応急対策への備えの充実	326
5	県民参加による地域防災力の向上	330
6	調査観測体制等の強化	331
7	「防災とボランティアの日」の制定	331
第5章 復興に向けて		
第1節	復興への始動	333
第2節	緊急復興対策等の推進	333
I	復興に向けた構想づくり	333
1	新都市再生戦略ビジョン作成方針	334
2	阪神・淡路震災復興戦略ビジョン	334
3	阪神・淡路震災復興計画－基本構想－	338
II	復興県民会議等による復興計画の検討	339
1	産業復興会議	340
2	ひょうご住宅復興会議	342
3	外国人県民復興会議	343
4	保健医療福祉復興県民会議	344
5	兵庫県生涯学習審議会	344

6	新しい家族と地域のネットワーキング会議	345
7	男女共生のまちづくり推進会議	345
8	食品産業振興連絡調整会議	346
Ⅲ	阪神・淡路震災復興計画（ひょうごフェニックス計画）の策定	346
1	阪神・淡路震災復興計画策定調査委員会	346
2	復興計画策定プロセスへの住民参加	350
3	地元一体の計画策定	351
Ⅳ	緊急3ヶ年計画等の策定	355
1	産業復興3ヶ年計画	355
2	緊急インフラ整備3か年計画	355
3	ひょうご住宅復興3カ年計画	356
4	阪神・淡路都市復興基本計画	363
第3節	復興に向けた国の対応	366
1	阪神・淡路復興対策本部の設置	366
2	阪神・淡路復興委員会の設置	367
3	特別法の制定	369
第4節	震災復興基金の創設	372
1	震災復興基金の創設	372
2	宝くじ、公営競技による支援	374
第5節	復興に向けての活動支援	374
1	被災者復興支援会議	374
2	フェニックス・ステーション活動等の推進	376
3	芸術文化活動を通じた被災者激励	378
4	復興支援イベントの実施	380
5	県立大学における震災復興特別研究の実施	382
第6節	大震災からの1年を振り返って	382
1	復興へのアピール	382
2	平成8年1月17日を迎えて	383
3	復興に向けた着実な前進	387
緊急対策の記録		
•	緊急対策の成果	399
•	避難者数の推移	419

※ 本書に記述されている日付については、特別のことわりがない限り平成7年の日付である。